

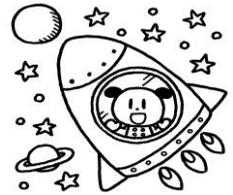


「七夕」短冊に将来の夢を書き、笹に結ぶと願いが叶えられる

とされています。夢はすぐに叶うものもありますが、難しいものが多いです。それは本人の努力が必要だからです。思うように行かず諦めてしまう人が少なくありません。私もその1人でした。長い日々を努力して夢を叶えた1人の女性がいます。宇宙飛行士になられた向井千秋さんです。

向井さんは慶応義塾大学のお医者さんでした。10歳の時にお医者さんになりたいと思い、お医者さんになる夢を叶えるのに10年以上もかかりました。お医者さんとして働いていた向井さんですが、たまたま「日本人宇宙飛行士の募集」の新聞を見て宇宙に行ってみたいと思い、次の夢、宇宙飛行士になるために、働きながら英会話学校に通い勉強したそうです。

難しい試験が1年以上、次々にあったそうですが見事合格されました。でも、世界中には、たくさんの宇宙飛行士がいるので、なかなか宇宙に行くことは叶いませんでした。それでも彼女は挑戦し続けて1994年



について宇宙に行けたのです。その夢を叶えるにも、10年の歳月がかかったそうです。諦めずに努力し頑張っているといつか夢を叶えることが出来ることを向井さんは私たちに教えてくれました。それと彼女を支えた方々や家族がいたことも分かりました。

自分だけでは折れそうになり諦めてしまうことでも応援してくれる人がいると頑張れるのですね。

私たちも子供たちの夢が叶うよう応援してあげたいですね。頑張る子供たちを優しく見守り、励まし、勇気づけ、夢を叶える手助けが出来たら皆が幸せになれると思います。日本中の子供たちの夢が叶うように私たちも頑張りましょう！「エール」を送りましょう！



*みなさんの短冊に書く夢はなんでしょう？ 夢が叶うといいですね！